

身近な環境と触れ合い、自然や社会に対する好奇心を刺激する経験

熱海を知る保育プロジェクト「はつしまんけん」

本市では、令和2年度より、「熱海市教育振興基本計画」の熱海市就学前教育カリキュラムに掲げる「郷土“熱海”を愛する心」を育てていくことを目的に、「特色ある保育」として、幼児期より熱海を知る・親しむため、豊かな地域の自然と歴史・文化に触れる体験保育を行っています。

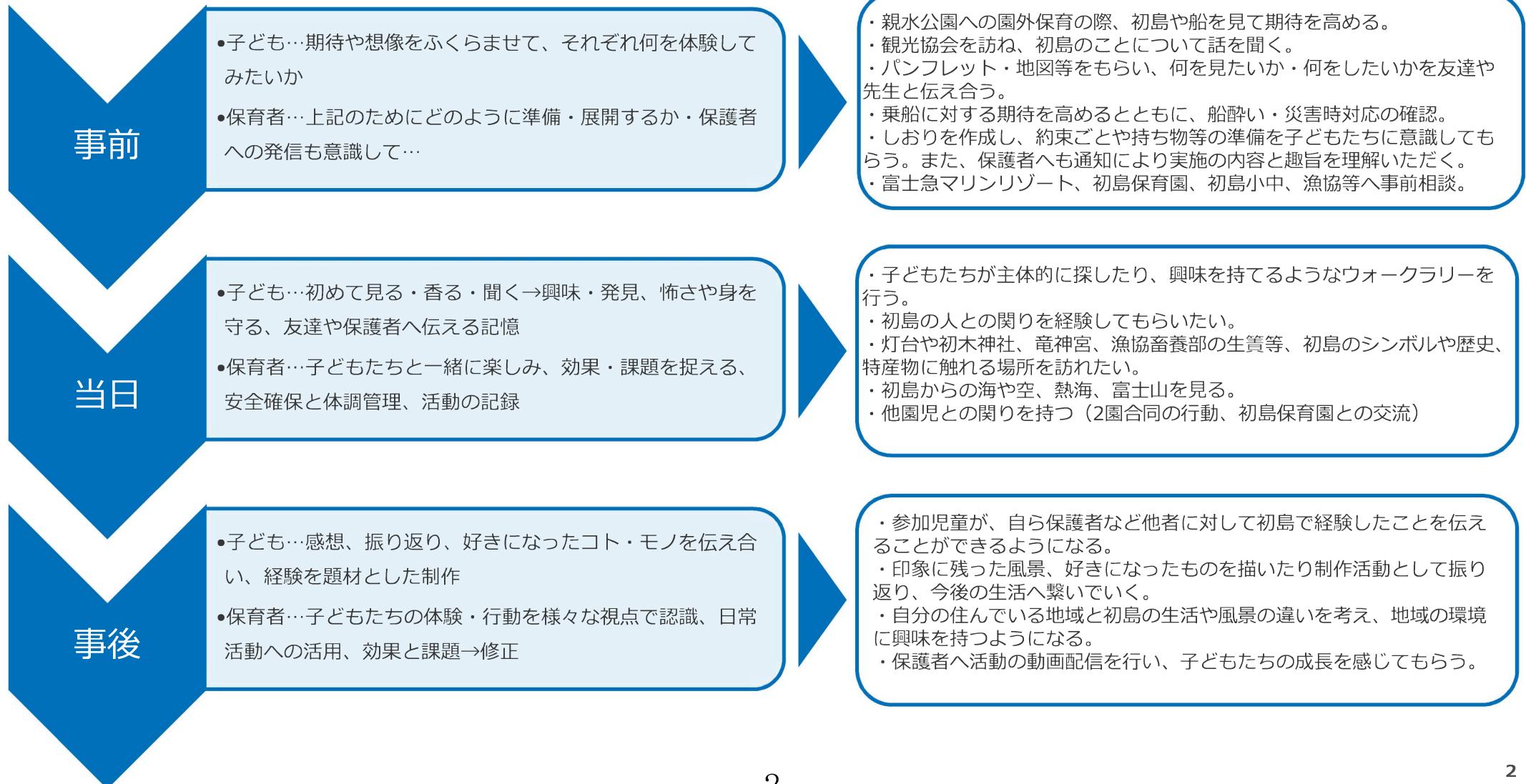
令和3年度の春は、公立幼稚園・保育園・こども園の5歳児を対象に、県内唯一の有人離島である初島での、園内の生活だけでは経験できない体験保育を計画いたしました。

小学校の学びに向けて、5歳児クラスは「学び始める」時期と捉え、初島航路乗船の経験や、初島での海風と香りを感じ、歴史や初島の暮らし等を学ぶことにより、子どもたちには郷土への興味や関心を持ってもらいたい。

事前に体験保育への意識を誘発させ、期待と疑問、実現するにはどうしたら良いか、実現して嬉しい、想像と実際での感情など、子どもたちも自分で考え、学ぶことの楽しさを感じてもらい、友達や保育者・保護者に気持ちや感想を伝え合うことで、教科学習への興味付けや下地作り、学習する楽しさを芽生えさせます。

実施にあたり、年度当初から各園の保育者・教委事務局指導主事でプロジェクトチームを構成し、過去の活動だけにとらわれない、効果的かつ柔軟な内容とするために検討をいたしました。

プロジェクトチームによる検討



事前の活動（親水公園での園外保育）・・・疑問と想像→調べ学習→伝え合い

子どもたちが興味や疑問を持つような状況を演出。自分たちで考え、調べる行動を促し、自ら調べたことを伝え合った。子どもたちから保育者に対して「どうすれば初島に行けるか」等の問い合わせもあった。



体験保育のしおりを配布

☆ねらい

- ・しおりの内容や、事前の活動で学んだことを各家庭において話してもらう。
- ・目的や約束事を理解し、体験保育に参加する。
- ・持ち物や服装等の準備を、子どもたちが主体的に行う。

たのしいたいけんにしよう！

やくそく

- ・あいさつをしましょう。
- ・ふねのなかでは、おおきな
こえでしゃべったり、ふざけたり
しないようにしましょう。

みたり、きいたりして、
たくさんはっけんをしましょう！

かわいい動物たちのイラスト

はつしま！ たいけん

2021ねん5がつ13にち

いきさき：「はつしま」

くみ なまえ

1 について

8時30分までにどうえん

8:40	えん しゅっぱつ (ぱす)
10:10	あたみこう とうちゃん
10:30	あたみこう しゅっぱつ (ふね)
11:00	はつしまこう とうちゃん
	はつしまこうえん とうちゃん
	おべんとう (おにぎり)
	はつしま さんさく
13:20	はつしまこう しゅっぱつ (ふね)
13:50	あたみこう とうちゃん (ふね)
13:50	あたみこう しゅっぱつ (ぱす)
14:40	えん とうちゃん



2 もっていくもの

もっていくものをよういしたら、□のなかにしるしをつけて
わすれものがないようにしよう！

- | | |
|-------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> すいとう | <input type="checkbox"/> おにぎり (おかずは、いりません) |
| <input type="checkbox"/> しーと | <input type="checkbox"/> おてふき |
| <input type="checkbox"/> はんかち | <input type="checkbox"/> ていっしゅ |

※もちものは、えんのりゅっくのなかにいれてきてね！

3 どうじつのふくそう

●たいそうぎ

(さむいときは、はんそでのしたにながそで
をきたり、うわぎをきたりしましょう)

- | | |
|----------|---------|
| ●ながずばん | ●くらすばうし |
| ●はきなれたくつ | |



当日の様子・・・R3.5.13（木）曇り時々雨 あたみこども園・泉幼稚園35名参加

当日は風が強く、海上は高波のため、航行中はかなりの揺れがあり、数名の児童において体調不良も見られたが嘔吐等の強い症状はなかった。事前活動からの体験保育に対する期待感・高揚感により船内での様子は和やかであった。

「ShimaTerrace初島」にて、歴史資料管理室(北川職員)による、初島の歴史や風土、産業等について聴講。子どもたちにおいては活発に質問する姿も見られた。「初島は浮いているのですか、なぜ砂浜がないのですか、飲み水は海の水ですか、消防車はありますか、病院はありますか 等々」

初島小中学校体育館での昼食を済ませ、島内路地を散策し、初木神社を参拝、漁協畜養部の生簀見学の後、帰路についた。



事後の活動

体験翌日に子どもたちそれぞれに感想の発表を行ってもらった。また、初島で撮った写真を見ながら気づいたことを発表。

3・4歳児からも様子を聞かれたことから、自分たちが経験したことを伝えてあげたいとの声があがり、どのように伝えるかを子どもたちが相談。結果、「グループごとで優しく教えてあげる」「絵を描く」「初島を作る」が挙げられた。

「何があったか?」「何を作るか?」、「ひとりで作るのか?」「みんなで作るのか?」についても話し、意見を出し合い、子どもたちで方向性を決めていった。

●何があったか?何を作るか?

- ・ふね ・初島 ・海 ・トイレ ・あたみ
- ・初木神社 ・初木姫 ・学校 ・灯台 ・花
- ・初島テラス ・初島公園 ・保育園 ・漁港
- ・ポスト ・民宿 ・バス ・診療所

●ひとりで作るのか? みんなで作るのか?

- ・ひとりでつくるのは難しい!
 - ・みんなでつくりたい!
 - ・大きいのをつくりたい!
- 「去年、みんなでお家を作れたから、
みんなでやれば初島を作れると思う!」



今後制作したものを使い、
異年齢児や初島保育園児など
に報告会を行ったり、保護者
参観の際に発表の場を設けて
いきたいと考えている。

保護者の声

初島体験お疲れ様でした!!

コロナと雨で大変のなか、初島行きを決行してくださりありがとうございました。

カタツムリとイセエビとサメとイルカ？を見れた事と、船に乗ってすごく揺れてとっても楽しかったと教えてくれました。

「初島では何したの？」って聞いたら、「忘れた」と言わされたので、写真を見るのが楽しみです。

喜んでいたので本当に良かったです。ありがとうございました。

先日の初島体験ありがとうございました。

船酔いをしてしまったようですが、船に乗ったことがとても楽しかったみたいで「海賊船がいたんだよ！」と大興奮で教えてくれました。今度、家族でも初島に遊びに行ってみたいと思います。

なかなかできない貴重な体験をありがとうございました。

初島に行けて本当に良かったです。
先生が船酔してしまったとか…

大丈夫でしたか？子どもたちは強いのかな～。ザブンザブンって嬉しそうに話していました。

新聞にも載っていたようで、とても良い記念となりました。

初島たんけん、ありがとうございました。

学校でおにぎりを食べたこと、たくさん魚を見たことを、帰ってきてすぐに教えてくれました。

こども園のお友達はどうだったと聞くと、「僕はお友達になりたい子はいなかった」と…。どの立場で言っているのでしょうか…。

あいにくの天気でしたが、内容変更してでも連れて行ってくれた先生たちに感謝します。

子どもたちに良い思い出を作ってくれてありがとうございます！

楽しかったようで、「また行きたいい！」と言うのですが、「何が楽しかったの？」と聞いても具体的には答えてくれません… 唯一、魚を釣り人に見せてもらったと教えてくれました。

上着を持たせ忘れてスミマセンでした。先生のパーカーを借りてうれしかったようです。ありがとうございました。

初島たんけんありがとうございました。

楽しかったと何度も言っていました。
バスに水筒を忘れたり、ゴムが外れたり、お手数をおかけしました。

園での様子をありがとうございます。
家出の様子や気持ちの変化など見守っていきたいと思います！

まとめ

【成果】

初島漁協の方、富士急マリンリゾートの方、初島小中学校校長、北川職員等、様々な方と会話をする中で、初島に対する興味が深まったり、自分の思いを伝えるという経験があり、さらにもっと知りたいと感じる様子が見られた。

帰園後の異年齢児からの問い合わせに対し、自分たちで考えた内容で伝えるを選択したことは、これらのが好影響を与えていていると考えられる。

事前の導入により、「行きたい」「したい」をイメージし、それらを実現することの難しさと、達成した喜びを感じることができた。

子どもたちにとって、日頃の園生活だけではできない豊かな経験となった。また、同じ郷土熱海のなかには様々な地域があり、自分の生活する場所との違いも感じ、興味を持って「なぜ」「どうして」という思考に結びついたことは、大変意義のある活動であり、熱海市就学前教育カリキュラムの「3つの力」を構成する要素と経験させたい内容の実践に繋がった。

【課題】

他園との交流活動をさらに促す必要があるが、どのように展開するか。

余裕のある活動内容にして、じっくりと「見たり」「聞いたり」「触れたり」する時間を設ける必要がある。

【今後の活動】

今回の活動によって、子どもたちに“熱海”をもっと知りたいという思いは確実に芽生えており、海・山の自然や人、歴史、文化のことを知る活動を充実させていく必要がある。

子どもたちの主体的な意見を取り入れながら、今後も着実かつ円滑な実施を進めていきたい。

熱海市就学前教育カリキュラム 「3つの力」を構成する要素と経験させたい内容

要素	内 容
つながる力	自尊心・信頼 <ul style="list-style-type: none">身近な大人との信頼関係を築いて安心して生活し、自分や他の人を認める。何かができた時に喜んだり、自分を褒めたりする気持ちをもつ。
	興味・自然との関わり・生命尊重 <ul style="list-style-type: none">身近な環境にかかわり、様々なものや出来事に興味・関心をもつ。身近な動植物に親しみ、生命的の尊さに気づいて大切にする。自然を見たりふれたりする中で、その美しさ・不思議さに気づく。身近なものを大切にする。
	伝え合い・くみ取る <ul style="list-style-type: none">人の話を集中して聞き、理解しようとする。経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現する。表情や動きから、相手の思いをくみ取ろうとする。絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞く。
	社会生活との関わり・感謝・思いやり・協同性 <ul style="list-style-type: none">地域の方や公共の施設の利用などを通して、社会とのつながりを意識するようになる。家族や友達の大切さに気づき、感謝の気持ちや思いやりをもってかかわる。友達と楽しく活動する中で、共通の目的に向かって工夫したり協力したりする。
元気に生活する力	自立・自信・健康 <ul style="list-style-type: none">基本的な生活習慣を身につけ、自分でできることは自分でしようとする。様々なことに自信を持って積極的に取り組む。早寝・早起き・朝ご飯など、健康な生活リズムを身につける。友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わい、心と体を十分に動かす。一日の生活の流れを理解し、見通しをもって行動する。
	道徳心・規範意識・共感・折り合い・ルール・安全 <ul style="list-style-type: none">良いことと悪いことに気づき、自分で判断して行動する。友達と積極的にかかわる中で、喜びや悲しみを共感し、相手の立場に立って行動するようになる。トラブルや葛藤する体験を通して、相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを調整することで、折り合いをつける。友達と楽しく遊ぶためのルールがわかり、守ろうとする。危険な場所や遊び方、災害時などの行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。
	食事・食育 <ul style="list-style-type: none">食べ物に興味・関心をもち、楽しんで食事をする。食べ物や食べることの大切さに気づき、残さず食べようとする。
考えてチャレンジする力	挑戦・達成・ねばり強さ <ul style="list-style-type: none">初めてのことや苦手なことにも、積極的に挑戦しようとする。失敗してもあきらめずに、最後までやり遂げようとする。
	意欲・気づき・思考力・探究心 <ul style="list-style-type: none">様々なことに好奇心をもって意欲的に取り組み、その性質や仕組みに興味をもつて探求しようとする。日常生活の中で、文字や数量・図形などに関心をもち、遊びに取り入れようとする。主体的に遊びを見つけ、試行錯誤や工夫を繰り返しながら遊び込む。
	感性・表現・工夫 <ul style="list-style-type: none">日常生活の中で、美しいものや心を動かすこと出会い、イメージを豊かにする。感じたことやイメージしたことを自分なりに工夫して、描いたり作ったりすることを楽しんだり、音や動きなどで表現したりする。